

西松建設関連政治団体収支状況から見たもの

2009年1月24日

松山治幸

対象政治団体・・・新政治問題研究会、未来産業研究会

新政治問題研究会編

1. 主な支出は、寄付金と組織活動費で一定の政治団体への寄付を主たる目的とした政治団体である。
2. その支出先は、ある程度絞られているものの特定の政治家を支援するものでもないようだ。しかし、成果は別として何等かの政策を期待した寄付であることは想像される。
3. 収入の新世紀政経懇談会は、九段会館で年間3回を開催した収入であるが、どこからの収入かは不明。年間500万円から600万円ある。このパーティー費用は、1回当たり20万円程度で費用はいずれも5万円未満として内訳は非開示とされている。
4. 収入で最も不思議な内容は、個人からの会費収入で、年間の支払者は、400人から多い年度では1410人に上っています。個人の意思で寄付を行なっているとは考えにくい。なぜなら、政治活動の目的が不明確であり、税制面での優遇措置も採用されない団体であり、また、会則では1口1ヶ月1万円で年2回払いになっている。年間12万円になるが平均6万円程度でありきわめて中途半端な金額になっている。会社が、給与に上乘せするにしても、阪口さんのブログに記載のとおりそのような措置は不自然で従業員から不正ではないかとの指摘も想定され、税金問題も発生し会社がある程度まとめた振込にしていると考えerほうが自然であろう。

5.

未来産業研究会編

1. 上記新政治問題研究会と基本的に同じ構造になっている。会費収入の会員は100名程度で一人当りの会費は6万円程度。また、フォーラム日本21と称する会合が開催されているようであるが、どのような会合かは見えない。
2. 上記新政治問題研究会と同じような政治団体であるが、その目的が相違するののかも不透明である。

以上